



寄稿

共に歩もう



日暮らしの中で

山陰教区組長会長 松江組 西宗寺  
高野 顯 信

今年に入っても当教区（鳥取・島根）の人口動態は減少に向かうとの予想の中、全国で「最も住みやすい県」とも評価されている記事を読みました。過疎県と言われる教区には二〇組・四二四ヶ寺・一〇六九名の僧侶の方々が宗門の一員として関わり、地域・歴史に根ざして御法義相続していらつしゃいます。ある方は専従で、ある方は兼職の僧侶として、又中山間地域で、都市部で「一味の信心念仏の中に生きる」の一点を共通項のもと、今があると思うことで

す。その中で、今日の有様ありさまが厳しく問われています。

若い頃、ある老僧から「朝夕の勤行は僧侶の日課。朝夕のお勤めを怠ると目が恐い。如来さまの目も恐いがお同行の目はもつと恐い」と感慨深く話して

くださったことを思い出します。「日本人は世間体ばかり気にする『恥』しかない」と簡単に片づけるのではなく、見ていてくれる様々な「目」によって、お育てをいただき、無意識のうちに自戒が働いているのでは、と昨今思うことです。

実は、その素朴な日々の生活姿勢の中に「身業説法」があり、共に歩む伝道」の姿があると思うのですが。今日の環境・生活の変化の中で御門主が「み教えを伝える場合、言葉以上に形が大事だと思えます。」と示しておられる一行を思い出しています。

厳しい、むつかしいと愚痴るだけでなく、日暮らしの中で出来る実践活動を展開していききたいものです。

なつえあう なかま

大田中組 大雄寺  
毛利 壽恵子

話し合いの法座は 人と人とのぬくもりを 心と心のつながりを たしかめあうなかに 自分を再発見する場です。〃

連研ノートDのテキストより

山陰教区門徒推進員連絡協議会が発足して二十年の歩みを経て、現在会員数が五百名を越えられましたこと、よろこばしいことです。

組連研↓教区履修者研修↓中央教修を修了されて門徒推進員となられました。

中央教修での厳おしそかな中での決意表明は感動的であります。

決意表明の前夜、一生懸命ことを考えておられる光景が昨日のように思い出されます。

私は平成五年から十数年中央教修

のお手伝いのご縁がありました。

多くの方々との出遇いをいただき、今なお、励まされております。

お一人おひとり、所属寺院において、仏壯、仏婦、寺院活動への参加、協力や、地域社会の奉仕活動を実践されている姿に頭が下がります。

反面、熱心に取り組むほど壁にぶつかってしまふという声も聞きます。そんな時は焦あせらず、一人でかかえこまず、初心にかえつて、ささえあう なかま」と相談することが大切ではないでしょうか。

共に歩もうとは連研をとおして門信徒と僧侶が共に育つことです。

誰一人として悩みのない人はいないからこそ、法に問い、聞き、語る法座の輪を広げることが、お念仏をよるこぶなかまの輪が広がることと繋つながるのではないのでしょうか。



**登録番号19671**

- ①澤アツ子(さわあつこ)(釋徳広)
- ②松江組 真光寺
- ③お聴聞を重ね、住職様坊守様に協力し、仏婦会員の輪の拡がりに努めます。

**登録番号19645**

- ①飯塚康夫(いいつかやすお)
- ②神門組 正善寺
- ③多くの人との出会いの中で、浄土真宗の教えを元に縁を結ぶ。

**登録番号19660**

- ①片岡隆之(かたおかたかゆき)
- ②飯南組 明眼寺
- ③私は、お寺に若い人がもっとたくさん足を運び機会を作ることを誓います。

**登録番号19658**

- ①景山信子(かげやまのぶこ)
- ②飯南組 明眼寺
- ③私は、み教えを聞くために、お参りいたします。

**登録番号19659**

- ①景山稔(かげやまみのる)
- ②飯南組 明眼寺
- ③生かされている事に深く感謝し、一日、一日を和(なごみ)の内に過します。

**登録番号19657**

- ①澤井清登(さわいきよと)
- ②飯南組 西正寺
- ③同じ門徒の方に(特に仏社会員)事業に一人でも多く参加してもらえるように呼びかけをしたいと思います。

**登録番号19666**

- ①瀧川美代子(たきがわみよこ)
- ②神門組 西楽寺
- ③お寺のお手伝いをさせていただきながら学び正しい教えを後生に伝える。

**登録番号19674**

- ①山根孝雄(やまねたかお)
- ②神門組 正善寺
- ③聴聞させていただき私自身を成長させ、感謝の心を忘れず過ごしたいと思います。日々、心穏やかに感謝の心を忘れず過したいと思います。

**登録番号19648**

- ①前川静子(まえがわしずこ)
- ②鳥取因幡組 浄宗寺
- ③日々感謝の心を忘れず、お寺の行事に参加し聞法に努め中央教修を推進していきます。

**登録番号19677**

- ①長谷川洋子(はせがわようこ)
- ②鳥取因幡組 願正寺
- ③お寺の行事には参加する様にしたいです。

**登録番号19664**

- ①津崎智香恵(つざきちかえ)
- ②鳥取因幡組 願正寺
- ③研修会、法座に参加し、住職、坊守とコミュニケーションをとりながら、できることから実践していきたいと思います。

**登録番号19661**

- ①松本慎二(まつもとしんじ)
- ②佐波組 西念寺
- ③住職と共に護寺・発展に努める。

**登録番号19654**

- ①白根靖男(しらねやすお)
- ②神門組 正善寺
- ③私は、この度の中央教修で得た知識を尊重し、地域における門徒推進員の加入促進に努めます。

**登録番号19653**

- ①白根桂子(しらねけいこ)
- ②神門組 正善寺
- ③私は聴聞にいそしみ浄土真宗の念仏者として生きて行きます。

**登録番号19670**

- ①西山賢一(にしやまけんいち)
- ②鳥取伯耆組 香寶寺
- ③家族に感謝するとともに、宗門の仲間を増します。

**登録番号19667**

- ①生田健二(いくたけんじ)
- ②鳥取伯耆組 香寶寺
- ③お念仏を大切に、子ども、孫にお念仏を伝えます。

**登録番号19649**

- ①岡崎岩男(おかざきいわお)
- ②鳥取伯耆組 勝福寺
- ③私は、チリのような存在ですが、御同朋の社会をめざすことを誓います。

**登録番号19668**

- ①木本勝治(きもとかつじ)
- ②鳥取伯耆組 香寶寺
- ③聴聞を重ね、み教えに寄り添う生活を送りたいと思います。

**登録番号19663**

- ①野上義男(のがみよしお)
- ②鹿足組 浄徳寺
- ③お念仏をよりどころに生かさせて行く喜びを御同朋に伝え、お寺参りを呼びかけお寺の盛り上げに努めます。

**登録番号19652**

- ①森岡俊則(もりおかとしのり)
- ②松江組 西宗寺
- ③聴聞をする仲間を増やしたいと思っています。

**登録番号19651**

- ①玄田初榮(げんだはつえ)
- ②松江組 明宗寺
- ③「日々、六字のみ名をとえつつ、差別をしないで、人との関わりや社会生活を営むことを誓います」……これは、私の「決意表明」の内容である。これからも、社会や環境など世の中が、どんなにめまぐるしく変わろうとも、私は、浄土真宗の奥義を追求し続け、たとえ、「かたち」としては見えにくい小さな営みであっても、常に心を働かせ、人のために力尽して、明るく、たくましく生きていきたいと思う。

**新しく門徒推進員に  
なられた方々**

※掲載順は登録番号順

**質問**

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属寺
- ③門徒推進員としての決意

**登録番号19650**

- ①河原秀之(かわはらひでゆき)
- ②大田西組 西楽寺
- ③門徒推進員としての自覚をもって、お寺の護持発展に協力します。

**登録番号19656**

- ①田部富雄(たなべとみお)
- ②出雲南組 円寿寺
- ③お寺の諸活動を活性化したい。

**登録番号19665**

- ①梶谷宗克(かじたにむねかつ)
- ②神門組 清龍寺
- ③私は、閉ざされていた私自身の心に風穴をあけ、お寺の活性化に全力で努めます。

**登録番号19676**

- ①箱上晴美(はこじょうはるみ)
- ②江津組 法正寺
- ③法の友の輪を広げる様つとめます。

**登録番号19675**

- ①箱上初男(はこじょうはつお)
- ②江津組 法正寺
- ③人と人との出会いの中で、自己を見つめ、お念仏を申す日々を送ると共に、御恩報謝の活動に微力を尽したい。

**登録番号19672**

- ①賀美玲治(かみれいじ)
- ②江津組 光善(後地)寺
- ③「思いやり」「助け合い」の心の広がりを求める活動を。

**登録番号19646**

- ①森山俊正(もりやまとしまさ)
- ②神門組 正善寺
- ③浄土真宗のみ教えを学ぶことに務めたい。

**登録番号19655**

- ①森山佳江(もりやまよしえ)
- ②神門組 正善寺
- ③お寺とのお縁を大切にするとともに、女性同士話しあえる場づくりにむけ努力します。

**登録番号19647**

- ①上谷隆夫(うえたにたかお)
- ②江津組 西教寺
- ③私の生き方を宗祖親鸞聖人のみ教えを聞き、お念仏と出合っていたくお手伝いをさせて頂く。

**登録番号19673**

- ①長井正樹(ながいまさき)
- ②江津組 光善寺
- ③私の信心は実践を伴わない自己満足の信心であったことに気づいたので、自立していく念仏者をめざします。

## 寄稿

## 新会員の声



## 中央教修を終えて

鳥取伯耆組 香寶寺

釋致敬 生 田 健 二

五年前に鳥取伯耆組第一期組連研を修了した四名が第二二四回中央教修に参加しました。二十五年二月九日からの日程で、寒さの厳しい時期で大変でしたが、各地からの参加者とともに組連研とは違った雰囲気の中で教修は大変貴重な体験になりました。スタッフの先生方の熱意と暖かい励ましには感謝をしています。テーマごとの講義、その後の話し合い法座ではそれぞれの人達の思いが自分自身の言葉で話し合われ、日々の暮しの中で自分中心の生き方、損か得かでもの見ていた自分がそこにいることに気付かされて反省することばかりでした。浄土真宗門

徒としての生き方を学ぶとともに、自分自身の生き方を見つめ直す良い機会をいただいたことを有り難く思いました。

全員で二十名と少ない人数でしたが、無事教修を終了することが出来、スタッフの皆様を始め、参加者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。三泊目最後の夜は、二十名全員が、一部屋に集まって、二三四同期会の立ちあげと、幹事、世話人を決めました。そして後日連絡が有り、二〇一四年三月十一日、十二日の日程で、念仏奉仕団として同期会を開くことが決まり皆様との再会を楽しみにしています。

中央教修での決意表明を、これからの生き方として、又門徒推進員として、多くの人達に、お念仏お聴聞の大切さを伝えたいと思います。

私の一步  
お寺に足を運ぶことから

出雲組 正善寺

森 山 佳 江

平成二十二年三月、私は無事定年退職を迎えました。しかし、翌4月には義母が病に倒れ九か月後に亡く

なりました。それから我家の生活は一変し寂しくなりました。

一周忌が過ぎた頃、お寺からの勧めもあり、夫と私は中央教修を受講しました。

教修では多くの事を学びました。全国の仲間や女性門徒推進員の発表を聞き、次のような感想を持ちました。

★みんな何故あんなにイキイキ話せるの？知識も多いわ。

★お寺へ足を運ぶようにと言われてるけどきっかけが難しい。

教修後お寺に報告に行き、「女性の門推も増えたので、これから一緒に話しあいましょう」と住職・坊守様の温かいことばに触れ、ほっと安堵しました。程なく「門推女性の会」が発足し、只今現在門推家庭の女性を対象とした、初の「女性のつどい」(注) 法話と交流・茶話会の開催に向け、企画準備中です。

また、報恩講・近隣数か寺合同の仏婦の会・コース等に出かける事により、おかげさまで浄土真宗の教えを得たり、多くの方との交流もはじまりました。

これからも、お寺とご縁を大切にし、自らを見つめ成長できるように、お寺に足を運んでいきたいと思っています。

## 中央教修参加について

江津組 西教寺

上 谷 隆 夫

私は平成十六年に妻の実家松江町に帰って来ました。その頃はお寺に参るのは義理参りでした。ある時仕事から連研にさそわれあまりのりきではなかつたのですが、その時の講師のお話し、そして班別での皆さんの話し合いを聞き、その時なんとも言えない気持ちになり今迄なにをボヤボヤして生きてきたんだろうと気づき、連研も休まず十二回参加させて頂きました。中央教修に参加させて頂き、全国から五二名の方が参加しておられました。皆さんとの出合で貴重な体験をさせて頂きました。最終日、皆さんと握手して別れの時皆さんの目には涙が光っていました。本当に良い御縁を頂きました。

門推活動は聖人のみ教を学び一人でも多くの方にお念仏の輪を広げてゆきたいと思っています。

合 掌

感銘

「本願力にあひぬれば、  
むなしくすぐるひとぞなき」

飯南組 明眼寺

景山 稔

十二月の京都西本願寺、早朝星空を頂き晨朝参拝の本堂に向う、暈の下から凍てつく寒さ、与えられたテーマを時間を割いての話し合い、深夜薄氷を踏む思いの決意表明など、数々の体験を経た本山教修は、全国各地からの参加者全員誰も新たな気持ちに満ち溢れての帰郷だったと思う。

今日まで、日常の煩雑さや仕事の繰り返し毎日の毎日、自分の足下を見つめる事などに思いをいたした人は、どれ位だっただろうか。聴聞の機会にも接し、幾らかの書に目を通して居ても、自分なりの受け止め方次第で味わいも、それぞれの事と思えます。

冒頭表題の言葉に会場で出会う事が出来ました。意味の深さに強い感銘を受け、何よりの人生の糧で有るうと確信して居ます。  
今後は念仏の恩恵を地域社会や家庭で更に、深めて頂けるべく、皆様と共に一層の精進すべき事と新たな誓いを致しました。

合掌

山陰教区門徒推進員連絡協議会・会則

(名称)

第1条 この会は「山陰教区門徒推進員連絡協議会」という。(以下「この会」という。)

(事務局)

第2条 この会の事務局は、山陰教区教務所に置く。

(目的)

第3条 この会は、山陰教区内の門徒推進員相互の連帯、及び親睦を図り聞法者としての自覚と研鑽に努め、また門徒推進員の役割を果たすと共に、宗門の御同朋の社会をめざす運動(実践運動)を目的とする。

(活動)

第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 1、教区の御同朋の社会をめざす運動(実践運動)に参画し、門徒推進員としての実践活動に努める。
- 2、研修会、法座活動、会報発行など目的の実現のための各種活動を行う。
- 3、門徒推進員の養成に関する活動を行う。
- 4、所属寺院における諸行事への参加、各教化団体と連携のもと、寺院の興隆に努める。
- 5、その他、必要とする活動を行う。

(構成)

第5条 この会は、門徒推進員の登録者をもって構成する。

(役員と任期)

第6条 この会に、次の役員をおく。

- 会長 1名
- 副会長 1名
- 理事 若干名
- 事務局 1名
- 会計 1名

幹事 若干名

監事 2名

2 役員は任期は2年とし、再任を妨げないものとする。尚、役員に欠員を生じ、その後任となった役員は任期は、前任者の残存期間とする。

(役員を選任)

第7条 この会の役員は、次の各項による。

- 1 理事は、各単位組の門徒推進員協議会で選出された会員とする。
- 尚、理事の員数は下記の通りとする。
- 但し組の門徒推進員協議会が未結成のときも、下記(1)項に準じて理事を選出する。
- (1) 単位組の会員数49名まで 1名。
- (2) 単位組の会員数50名以上 2名以内。

2 会長・副会長は、この会の理事会における理事の互選による。

- 3 事務局は、山陰教区教務所職員に委嘱する。
- 4 会計は、理事の内から会長が委嘱する。
- 5 幹事は、会員の内から会長が委嘱する。
- 6 監事は、理事会において会員の内から選出する。

(役員職務)

第8条 役員職務は下記の通りとする。

- 1 会長は、この会を統括し代表する。また、山陰教区教務所長の承認を得て、この会の運営にかかる会議などを招集する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、この会の運営にあたる。
- 4 事務局は、この会の事務全般を所掌する。
- 5 会計は、この会の会計全般を所掌する。

6 幹事は、事務局の職務を補佐する。

7 監事は、この会の会計を監査する。

(顧問・参与)

第9条 この会に顧問、及び参与を置くこととする。

- 1 顧問は、山陰教区教務所長とする。
- 2 参与は、会長経験者とする。

(会議)

第10条 この会の会議などは、次の通りとする。

- 1 この会の目的達成のため、総会・理事会を開催し、会長が招集する。
- 2 理事会は、必要に応じ会長が招集し、この会の運営にあたる。尚、理事会はこの会の決定機関とし、議決は出席理事の過半数をもって決定する。
- 3 会長は、前2項以外で必要とする会議を開催することができる。

(会計)

第11条 この会の経費は、会費、及び山陰教区の助成金、またはその他の収入をもって充当する。

- 2 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 3 予算・決算は理事会の承認を得て、総会に報告する。

(会則の改定)

第12条 この会則の改訂は、理事会において承認し、在席の3分の2以上の承認で決定し、総会に報告するものとする。

[付則]

- 1 この会則は、1996(平成8)年8月1日から施行する。
- 2 この会則は、1999(平成11)年4月28日に施行する。
- 3 この会則は、2000(平成12)年10月31日に施行する。
- 4 この会則は、2013(平成25)年6月7日に訂正し施行する。

寄稿

会員寄稿



平成二十四年度 実践運動

私の居場所は？

鳥取因幡組 西法寺

村上 征 男 (釈直道)

私は名ばかりの門徒の身でありながら総代の一員としてのご縁のち組連研を受講しました。そこで初めて浄土真宗のみ教えに出逢い、新教章(私の歩む道)の実践、聴聞の重大さに気付かされました。

また聴聞の場として寺の本堂がそして組内の各寺院や同行の方々とのご縁がいかに大切であるかにも気付かされました。

そして年令制限撤廃後七年を経た昨年七月中央教修を終え門徒推進員となりました。

改定された「実践運動」は本願寺派が浄土真宗へ、そして檀家が

門徒へと変わる運動であり俱会一処の世界で親鸞聖人と出逢うそのとき、浄土真宗の僧侶として、門徒としての有り様を問われる御同朋の社会への実現をめざす運動であるとも教えられました。

門徒推進員とは、門徒の一人として教団の運動に積極的に参加する人と定められています。

しかし私は門徒推進員で在る前に寺の門徒総代として住職と共に寺門の護寺繁昌に努める役割があります。

研修のテーマ「居場所はありませんか？」は宿題として(私の歩む道)を実践しながら探がし続けて行きたいと思えます。

第四連区

「実践運動研修会」に

参加して(報告)

出雲組 覚専寺

江角 明 夫

二〇一三年十月二十六日・二十七日の両日標記研修会が山陰教区の担当で、ホテル宍道湖を会場に「門徒推進員と御同朋の社会を

めざす」を基本テーマとして開催されました。

四州、備後、安芸、山口、山陰の各教区より多くの参加者があり百余名の盛大な研修会となりました。

一日目の主な日程は、勤行からはじまり、講義、各教区活動報告、交流会でした。

講義では北海道教区十勝組より脇谷曉融師を講師として「御同朋の社会をめざす」ということ、くつながつていく、引き継いでいく」と題して法話をいただきました。なぜ私達は「御同朋の社会をめざす」のでしょうか? 「御同朋」って何? 教え(聴聞)を通して、学んできたことを振りかえってみて...とお話があり、各教区からの活動報告では盛んな活動の事例報告がありました。

交流会では和気あいあいとした雰囲気での一時でありました。二日目は、あなた(私)は、連研や中央教修を終えて、何かに気づかれましたか? 念仏の教えにであいなあなた(自分)自身はどのようなに生きていきますか? をテーマとして班別による話し合い

法座を行いました。

まとめとしては、あらゆる人々が「自他共に心豊かに生きる社会の実現に貢献する」との結びでした。

この研修会に参加して、多くのであいと、門徒推進員としての「自覚」を再認識いたしました。

合 掌

寄稿

私の活動



今私に出来ること

飯南組 真向寺

高 橋 美智子

新しい年を迎え、今年も本山での御正忌報恩講法要に参拝するご縁を頂きました。御住職にお誘い頂いて二度目の参拝です。

キリリとした空気の中での、ご晨朝のお勤め、日中法要、そして

最終日の十五日の夜には通夜布教のお勤めです。全国各地から選ばれた十三名の御講師が、夜の七時から翌朝のご晨朝まで、聞法会館一階と三階の二会場それぞれ一席づつ、夜を徹してご法話があります。御自身の体験された事、御門徒との出来事、真夜中の法話では皆んなの眠気をまぎらわそうと大笑いするお話もあり、感動あり涙あり、笑いありのひと夜でした。

ご法話の中で「明日はどんな日が来るのか分からない、今日を大切に過ごしたい」とあり、私の二〇一〇年、中央教修を終え、門徒推進員になって四年、何をしていたのか、何をしていたのか、何時も疑問に思っていましたし、とても不安に思っていました。難しいことは考えず、今私に出来る事、お寺の法座には都合のつく限りお参りしよう、仏婦の行事には出来る限り参加し協力しよう、仏前では阿弥陀様に手を合わせ、南無阿弥陀仏と声を出して称えよう、と当たり前の事だと思っただけ、片意地張らずに、今は当たり前が大切ではと思うようになりました。

私の好きな言葉に「二期一会」があります。中学生の頃、尊敬してい

た先生に、今日一日を大切に生きてほしい、と教わりました。度々この言葉に出会ってききました。今新たに思います。今日、今を大事に暮らして行きたいと。

## 「花祭り」に携わって

出雲組 妙壽寺

門徒推進員 榎野博巳

妙壽寺では、恒例の「花祭り」が毎年四月の第一日曜日に盛大に開催されます。

今回で六回目の開催です。最近の二回は、妙壽寺の門徒推進員が実行委員となり、それぞれの持ち場、持ち場で協力しあって行っています。昨年からは、象に台車をつけて、お寺の周りの道路を子ども達が引つ張り、元気よく行進して行きます。

また、帰ってきた象に子ども達は紙の花を飾り付け、一人ずつ、お釈迦様に甘茶をかけてから本堂に上がります。

そして、住職様から花祭りの法話を聞いたり、門徒推進員から焼香の作法を教わったりして、その後はお楽しみの歌やゲーム、ス

タンプラーと続きます。そして、お腹の空いたところで推進員の手作りぜんざいを代わりをしながら腹いっぱいいただきます。帰る時は、子ども達は満面の笑顔を浮かべて、それぞれにお土産を手にして満足そうに帰っていきます。

この様に、「花祭り」が妙壽寺の恒例行事として今後とも継続され、少しでも子ども達の心に「お寺に参って楽しかった」といった思い出として残ってくれるよう願っています。

子ども達がお寺にお参りし、お寺との縁が広がっていきけるよう、推進員として今後とも精一杯お手伝いをさせていただきます。思っています。

## いっ山の本

### 接遇奉仕員として参加

温泉津組 西楽寺

長野 矩 廣

「ようこそお参りになられました。」・「ようこそお参りでした。」これは参拝者への声掛けの言葉です。ご本山には、ご門徒さまはも

とより、修学旅行生、国内外の観光客など、多くの方々がお参りになられます。その方々が快く参拝し、親しみを持っていただけよう、実践運動の一環として接遇面の充実を図られました。

ご本山での奉仕は、念仏奉仕団としての奉仕が一般的で、個人での奉仕は聞きません。しかし、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要での門徒推進員による奉仕があり、半日でしたが私は参加しました。その時のことを思い、また、ご本山へのお参りは晨朝参拝で終わっており、一日の奉仕で境内の雰囲気に触れることができればと思いい参加しました。

奉仕の内容は、御影堂門前で参拝者への声掛け、質問への応答、専門的なことは事務局への案内をしてきました。

質問の多くは、観光地への交通道順が主です。その中で特に印象に残ったのは、外国人と観光地図をもとに話すことができたことです。

奉仕の日数は四日で回を重ねることに参りの方と話が出来、楽しい思い出となりました。

あたらしい連研ノートができました！

新教材「連研ノートE」

12の問い		サブテーマ (私の問い)
1	私にとって幸せとは何でしょうか。	1. 最近、うれしかったこと、悲しかったことは何ですか。 2. あなたはどんなとき幸せだと感じますか。 3. あなたの幸せの基準をいくつかお聞かせください。
2	葬儀や法事は何のためにするのですか。	1. お仏壇は先祖のいるところではないのですか。 2. 周りに迷惑をかけたくないので、私が死んだら「家族葬」でよいと思っているのですか。 3. 葬儀や法事をしないと罰が当たるのですか。
3	老いて亡くなることがわかっている、受け入れられません。	1. 私は、自分が死ぬのではないかと不安に耐えられません。 2. 親の介護をしていると、色々な思いがわきます。 3. 看取る側として、どのような心をもてばよいでしょうか。 4. 家族や友人の死から立ち直れません。どうしたらよいのでしょうか。 5. ペットをなくした寂しさに耐えられません。
4	他人からどう思われているのか、気になって仕方ありません。	1. 地域や職場でみんながやっているようにしなければ疎外感を感じます。みんなに合わせた方がよいのでしょうか。 2. あるがままに生きている人を見るとうらやましく思います。しかし、そのように生きたら身勝手に見られて、関係が壊れるのが怖いのです。 3. 「自分らしく」生きたいと思っていますが、「自分らしさ」をどうやって見つけたらよいのですか。
5	お浄土とは何ですか。	1. 大切な人を亡くしてしまいました。どうしているのでしょうか。 2. 私は死後の世界は無いと思っています。 3. お浄土は私の今の生活とどのような関係があるのですか。
6	私は、神さまも仏さまも信じていますが、それではいけないのですか。	1. 昔からのしきたりで、お寺も神社もみんなで護ってきたものだと思います。でも信教の自由だから、もうしなくてもよいではありませんか。 2. お念仏をとえると何かよいことがありますか。 3. 運勢や占いなど、色々なものを頼りにしていますが、それで本当によいのでしょうか。 4. 霊感商法やカルト宗教にとられる人が多いのはなぜでしょうか。
7	自分だけが幸せでよいのでしょうか。	1. 私たちは一人では生きられません。幸せに生きることは私だけの問題ではないように思いますが、自分のことで精一杯です。 2. 大きな災害や事故が起こるたびに、私の身近でなくてよかったと思ってしまいます。 3. これだけ多くの人を自死に追い込む社会はおかしいと思います。何か私にできることはないでしょうか。
8	私は差別をしたことはありません。なぜ部落差別はなくなるのでしょうか。私は何をすればよいのでしょうか。	1. お寺で差別問題の話をする必要はありません。もっとご信心のお話をさせていただきたいのですが。 2. この世の差別は、前世の因縁や煩惱によって起こるのでしょうか。 3. 国籍や民族などへの差別は、なぜ無くならないのでしょうか。 4. いじめをなくすために、私は何ができるのでしょうか。 5. いきいきと生きるために、性に関する自由な生き方を求める人が増えています。お互いの悩みや思いを語り合ってみましょう。 6. 障がい者やハンセン病に対する差別について考えてみましょう。
9	環境・臓器移植・格差などの社会問題は、宗教が入り込む問題ではないと思いますが。	1. 脳死、臓器移植にどのように関わればよいのでしょうか。 2. 快適な生活を続けるためには、原発もやむを得ないという人がいます。どう考えたらよいのでしょうか。 3. 私たちが取り組める環境問題とはどんなことでしょうか。 4. 社会のさまざまな問題は、私一人の力では解決できないのでは。
10	戦争をなくし、平和を築きあげるにはどうしたらよいですか。	1. 宗門は、戦争を再び繰り返してはならないという決意を確認するため、「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」をお勤めしています。この願いをどう受け止めるべきでしょうか。 2. 国のために、愛するものを守るために戦死された方を、靖国神社に祀るのは当然だと思いますが。 3. 平和を維持するために引き起こされる、さまざまな苦しみや悲しみについてどう考えたらよいのでしょうか。 4. 平和を壊す宗教もあるのではないですか。 5. 浄土真宗は戦争についてどのように考えているのですか。
11	この連研を通して、感じたこと気づいたこと、うれしかったことを話し合ってください。	1. 連研を受けて、変わったこと、変わらなかったことは何ですか。 2. 連研を受けて、浄土真宗とはどのような教えだと思いますか。 3. あなたはこれからどんな人生を送りたいですか。そして何を大切にしていきたいですか。
12	「自他ともに心豊かに生きる」とはどのようなことでしょうか。	1. 一緒にいて安心できる人は誰ですか。あなたはどんな時に安心できますか。 2. 「無縁社会」という言葉があります。「つながり」や「きずな」は無くなってしまうのでしょうか。 3. あなたにとってお寺とはどんなところですか。

2012(平成24)年度  
山陰教区 門徒推進員連絡協議会  
会計決算

収入合計 1,579,710  
支出合計 738,854  
差引残高 840,856 (次年度へ繰越)

▷歳入の部

費目	平成24年度予算額	平成24年度決算額	対比△減	摘要
1会費	467,000	438,000	△ 29,000	1,000×438名分
2助成金	100,000	100,000	0	教区助成金
3参加費	480,000	408,000	△ 72,000	
1総会・研修会	240,000	182,000	△ 58,000	2,000×91名
2実践研修会	240,000	226,000	△ 14,000	2,000×113名
4諸収入	290	5,000	4,710	理事会志として
5前年度繰越金	628,710	628,710	0	平成23年度繰越金
合計	1,676,000	1,579,710	△ 96,290	

▷歳出の部

費目	平成24年度予算額	平成24年度決算額	対比△減	摘要
1研修費	500,000	288,574	△ 211,426	
1総会・研修会	250,000	133,158	△ 116,842	
2実践運動研修会	250,000	155,416	△ 94,584	
2広報費	120,000	110,250	△ 9,750	ともしび14号印刷費
3会議費	100,000	134,250	34,250	理事会義費
4旅費交通費	350,000	133,000	△ 217,000	各種代表者会議出席費用等
5通信費	40,000	35,680	△ 4,320	郵送・通信費
6事務費	30,000	29,000	△ 1,000	協議会出席費・事務費
7回金	0	0	0	
8予備費	536,000	8,100	△ 527,900	結成20周年編集会議費
合計	1,676,000	738,854	△ 937,146	

歳入合計 1,579,710  
歳出合計 738,854  
差引合計 840,856

2012(平成24)年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会の会計帳簿、通帳を監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。

2013(平成25)年4月16日  
山陰教区門徒推進員連絡協議会

監事 名克良 康義 敬  
監事 郷原 功 敬

2012(平成24)年度  
事業報告

〔目標〕御同朋の社会をめざして  
〔スローガン〕ともにいのちかがやく 世界へ  
〔教区基幹運動 重点項目〕

- ①親鸞聖人のみ教えに学び、全員聞法・全員伝道の門徒会運動を推進しよう。
- ②過去の過ちと現実を直視し、差別と戦争のない社会をめざして同朋運動を推進しよう。
- ③いのちの尊厳と平等をもとに、一人ひとりの苦悩に共感できる開かれたお寺・教団にしよう。
- ④連研の充実をはかり、門徒推進員の増員をはかる。

期日	事業	備考
4月17日(火)	監査会・理事会	会計決算について 事業計画、予算案など
6月5日(水)	理事会	総会・研修会について 大遠忌法要奉仕員について
6月16日(木)	理事会	総会開催について
7月10日(火) ～11日(水)	門徒推進員連絡協議会 (本願寺山口別院)	第4連区門徒推進員実践運動研修会 について
7月14日(土)	平成24年度総会・研修会	【会場】本願寺山陰教堂・教化センター 【講師】小滝了信師 【91名参加】
8月6日(月)	記念誌編集委員会	山陰教区門徒推進員連絡協議会20周年記念事業
10月13日(土) ～14日(日)	第4連区 門徒推進員実践運動研修会	【会場】本願寺山口別院 【19参加】 【講師】巖后範之師(岐阜教区華陽組願照寺)
12月13日(木)	ともしび編集委員会 並びに理事会	ともしび第14号発行について 実践運動研修会について
2月15日(金)	会報「ともしび第14号」発行	1000部発行(会員、全寺院、他配布)
3月2日(土)	実践運動研修会	【会場】本願寺山陰教堂教化センター 【講師】小玉 教雄師 【113名参加】

2013(平成25)年度  
山陰教区 門徒推進員連絡協議会  
会計予算

▷歳入の部

費目	平成24年度予算額	平成25年度予算額	平成25年度予算現況	摘要
1会費	467,000	529,000	432,000	会員数529名(H25.4現在)
2助成金	100,000	100,000	100,000	教区助成金
3参加費	480,000	480,000	172,000	
1総会・研修会	240,000	240,000	172,000	2,000×120名
2実践研修会	240,000	240,000	0	2,000×120名
4諸収入	290	144	0	
5前年度繰越金	628,710	840,856	212,146	
合計	1,676,000	1,950,000	916,146	

▷歳出の部

費目	平成24年度予算額	平成25年度予算額	平成25年度予算現況	摘要
1事業費	500,000	500,000		※ 費目変更
1総会・研修会	250,000	250,000	109,400	
2実践運動研修会	250,000	250,000	0	
2広報費	120,000	120,000	0	機関紙発行費用
3会議費	100,000	220,000	92,600	
1理事会費	100,000	200,000	71,500	
2監査費	0	20,000	21,100	※ 費目新設
4通信費	40,000	40,000	0	
5事務費	30,000	30,000	0	
6旅費交通費	350,000	50,000	37,000	全国・連区会議の旅費
7回金	0	50,000	50,000	第4連区実践研修会へ回金
8記念事業費	0	600,000	0	※ 費目新設
9予備費	536,000	340,000	0	※ 費目繰下
合計	1,676,000	1,950,000	179,600	

2013(平成25)年度  
事業計画

期日	事業	備考
4月16日(火)	監査会・理事会	会計決算監査について 事業計画、予算案など
6月7日(金)	理事会 記念誌編集委員会	総会・研修会について 教区門推結成20周年について 山陰教区門徒推進員連絡協議会20周年記念事業
7月10日(水) ～11日(木)	第4連区門徒推進員 連絡協議会	第4連区門徒推進員実践運動研修会 について 各教区代表者出席(本願寺山陰教堂)
7月13日(土)	平成25年度総会・研修会	【会場】本願寺山陰教堂・教化センター 【講師】吉川 光城師
8月下旬	門推結成20周年記念誌発行	
10月26日(土) ～27日(日)	第4連区 門徒推進員 実践運動研修会	【会場】ホテル宍道湖【山陰教区担当】 【講師】脇谷 曉融師(北海道教区十勝組妙覚寺)
11月	ともしび編集委員会	
12月	理事会	
2月中旬～下旬	会報「ともしび第15号」発行	1000部発行(会員、全寺院、他配布)
3月8日(土)	実践運動研修会	【会場】本双寺山陰教堂教化センター 【講師】松浦 英篤師

山陰教区門徒推進員一覧表

2013(平成25)年4月現在

組名	寺院数	会員数
鳥取因幡	19	49
鳥取伯耆	9	2
松江	18	60
出雲	14	208
神門	33	108
出雲南	10	34
飯南	19	38
大田東	42	32
大田中	29	5
大田西	19	13
佐波	21	2
川本	15	1
千須賀	16	8
邑智東	16	6
邑智西	17	41
江津	41	12
浜田	24	36
三隅	22	1
益田	16	0
鹿足	24	4
合計	424	660

本願寺山陰教堂常例法座

2014(平成26)年度「燈映会」出講予定

燈映会法座	実施月日	出講者名	寺院名
4月常例法座	4月21日(月)	藤川 昭信	出雲組光栄寺
5月常例法座	5月21日(水)	朝枝 俊円	大田西組瑞光寺
6月常例法座	6月20日(金)	岡田 哲水	佐波組西念寺
7月常例法座	7月18日(金)	富金原真慈	江津組蓮敬寺
8月常例法座	8月21日(木)	佐々木俊教	出雲組覺専寺
9月常例法座	9月19日(金)	窪田 英俊	大田西組願林寺
<b>教堂落成記念法要</b>	<b>10月21日(火)</b>	<b>平山 智正</b>	<b>備後教区光円寺</b>
12月常例法座	12月19日(金)	石橋 泰範	邑智西組光西寺
<b>御正忌報恩講法要</b>	<b>1月21日(水)</b>	<b>宏林 晃信</b>	<b>兵庫教区浄元寺</b>
2月常例法座	2月20日(金)	加納 真	浜田組林蔵寺
3月常例法座	3月20日(金)	楠 縁人	出雲南組善徳寺

◆ 燈映会法座 ◆

各月 午後 1:30~

◆ 教堂落成、御正忌報恩講の二法要 ◆

午前10:00~ 午後1:30~

「どなたもお参りください」

門推役員名簿

	所属組	所属寺院	名前
会長	神門	長泉寺	上田克夫
副会長	鳥取因幡	光輪寺	三村善信
理事	松江	明宗寺	山本善信
理事	出雲	覺専寺	江角明夫
理事	出雲	東林寺	岸本邦夫
理事	神門	長泉寺	井上静夫
理事	飯南	一念寺	深石尚武
理事	出雲南	善徳寺	広澤英雄
理事	大田東	常見寺	田中圓而
理事	大田西	瑞泉寺	中西義昭
理事	邑智西	光西寺	石田雅春
理事	江津	願乗寺	西本佳矩
理事	浜田	真光寺	長田幸男
監事	出雲	成福寺	郷原 功
参与	松江	明宗寺	松浦 靖
参与	出雲	源光寺	日野 実



編集後記

▼教区門推会報「ともしび」第十五号ができました。年度内に発行予定でしたが、諸々の理由で遅延になりましたこと、お詫び申し上げます。

ご寄稿いただいた方々、また編集に携わった皆さまに感謝申し上げます。

▼「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)がスタートして二年が経ちました。いろいろな場面、研修会等でいつも思うのは、実践運動がしっかりと浸透していないこと。言葉が変わると、組織ももうたえるようです。

▼仏青連盟のスローガンに「できることからはじめよう」というのがありました。私自身は実践運動のいきつくところはここかな、と勝手に解釈しています。行動ある念仏者として人生を歩んでいけたらいいなと思います。思っただけでは何も変わりませんよね。

できることはいつやるか?.....今でしょ!

(担当者)